

～ 俊敏な開発プロセスを実現する～

トライ&エラーで加速する アジャイル開発

キーワードは **デザイン思考** と **顧客起点**

開催日時 **2024年 8月 1日(木)** **2025年 1月24日(金)** **大阪会場** **オンライン選択可**
オンライン 各回とも 10:00～16:30

対 象

- ・製造業の設計・生産技術・品証部門等のマネジャー、担当者
- ・アジャイル開発の導入を検討している方、関心のある方
- ・アジャイル開発を社内に浸透させるための考え方を知りたい方

講 師 **野元 伸一郎 氏**
みらい株
シニアディレクター

参加料(税込) 法人会員: 55,000円/1名
会 員 外: 66,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ね ら い

周到にマーケティング・リサーチをしてじっくり開発したものの、開発期間がかかるうえになかなか顧客にミートしない、そして思ったほど売れない…
というサイクルに陥っていませんか？

本セミナーではこのようなサイクルから脱却するための開発プロセス構築についてわかりやすく解説します。

- ☒ アジャイル開発を取り入れてみたいが、どこから始めたら良いかわからない
- ☒ ソフトウェア開発以外にうまくアジャイル開発があてはまるか疑問
- ☒ アジャイル開発を浸透させるための教育はどうしたらよいか
- ☒ 今までの設計資産はあるのに、果たしてアジャイル開発に移行できるのか

といった疑問や悩みをお持ちの方におすすめてです。

受講後に目指す姿

- ①市場や顧客ニーズの多様化に対応し、**開発がスピードアップ**する
- ②**開発チームのコミュニケーションが向上**する
- ③さまざまな業種や企業の事例を学ぶことで**自社にあったアジャイル手法**の取入れを検討できるようになる

参加者の声

- ・アジャイルはただの機械的な効率化ではなく、人を上手に混ぜて効果を最大化する手法、ということが分かった。楽しく、というキーワードにも気づきがあった。
- ・スピード開発は品質を犠牲に、というイメージがあったが、そうではないと気付けたのは大きい。
- ・他社の参加者の方とグループワークして色々な考えをお聞きできたのも良かった。
- ・事例を交えて教えて頂けたため、アジャイル開発のイメージがついた。ぼんやりと認識していたアジャイル開発の考え方が、受講したことによって、ある程度明確に認識できた。

■ プログラム

10:00～16:30 [昼食] 12:00～13:00

1 なぜ今、アジャイル開発なのか

- ・市場・顧客の多様化に伴い、仕様が決まらず、開発が遅延する
- ・従来の開発手法で開発、製品を市場投入すると、必ずしもニーズとマッチしないことがある

2 アジャイル開発とは

- ・ソフトウェア開発から出てきたアジャイル開発
- ・3つのアジャイルコンセプト
- ・アジャイル開発の利点と限界

3 3つのコンセプトに基づいた アジャイル開発とデザイン思考の活用

- ・①チームビルディング、②インクリメンタル、③イテレーティブ
- ・デザイン思考とプロトタイピング、振り返り、フロントローディング/コンカレント、テストファースト、見える化とコミュニケーション、WBS等

4 アジャイル開発手法をどう使いこなすか

- ・様々な開発プロセス、製品開発との関連性
- ・流用度が高い開発への取り込み
- ・アジャイルを実行するための組織体制と腹落ち
- ・リソースの見直しと教育訓練体制
- ・デザインレビュー手法の見直し

5 ミニケーススタディ

6 アジャイル開発事例

7 まとめ

※演習や意見交換がありますのでカメラとマイクをオンにしてご参加ください。

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

